

11月27日(月)

あなたが貢献できることは何ですか？

聖書朗読 II 歴代誌 34:1~18

あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。

I コリント 12:27

ヨシヤは主の宮を修理して、主の律法の書を再発見しましたが、それらを彼一人で行なったわけではありません。ヨシヤの物語で一番重要なことはチームワークかもしれない。

信仰者ヨシヤは、彼の信仰ゆえに称賛されるべき人でした。彼は神の宮を修理しましたが、そのために必要な人たちをつなげることを考えなければなりません。それで、ヨシヤは3人の者を遣わしました。そして、お金を預けられた大祭司、そのお金を最初に寄付したイスラエル人、主の宮で工事をしている監督者たち、何千もの者たちがつながって主の宮の修理にあたりました。熟練した者もいれば慣れていない者、「書記、つかさ、門衛など」もいました。

彼らはみんな自分のできることで貢献しました。それは、パウロが教会について、『器官は多くありますが、からだは一つなのです。』(I コリント 12:20)と説明したことです。もしあなたがヨシヤの時代に生きていたとしても、主の宮の修理をする人の一部になるために、木工や石工の技術は必要なかったでしょう。ほかと比べて、これが特に重要だという技術などありません。すべてが、なくてはならないものなのです。私たちみんながキリストのからだなのですから、自分がいただいた能力や技術よりも、他の人がもっている能力や技術の方が重要ということはありません。あなたが貢献できることは何ですか？

讃美歌 537

祈り 天国のお父様。あなたが私たちに求められているように、あなたにお仕えできますよう私たちの目を開かせてください。あなたにご栄光を帰するために、あなたからいただいている賜物を用いることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョッシュ・ボイド

インディアナ州 ラファイエット

今日のカ

2017年11月27日～12月3日

翻訳 村越克子

中野雄貴

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月28日(火)

エズラは律法の書を朗読する

聖書朗読 ネヘミヤ記 8：1～10

悲しんではならない。あなたがたの力を主が喜ばれるからだ。ネヘミヤ 8：10

今日の聖句は私たちの人生に光を輝かせます。神様の律法の書が読まれて、それを聞いている民がいます。民が律法のことばに、どれほどの崇拜の念を抱いたことでしょう。民は、モーセを通して語られたみことばを聞いて癒されることを心から望んでいました。エズラが「夜明けから昼まで」律法の書を朗読している間、民はみな立ち上がって、耳を傾けました。そして、民は朗読されたことの意味を理解しました。なぜなら、読まれたことを理解できるように、神様の律法の書がはっきりと読まれて説明されたからです。

民はどのようにお応えしたでしょうか。『民が律法のことばを聞いたとき、みな泣いていた』(9 節)。主が望まれたことを自分たちがしていなかったことを、律法の書は告げました。民は大変悲しみしました。それは悔い改めの悲しみでした。

しかし、民は悔い改めるだけで終わりにはしませんでした。ネヘミヤとエズラとレビ人は民に言いました。『悲しんではならない。あなたがたの力を主が喜ばれるからだ。』と(10 節)。罪を犯した悲しみを感じることは正しいことですが、ずっと悲しんでいることは、神様を礼拝することと矛盾します。『神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせます。』(Ⅱコリント 7：10)。民はごちそうと交わりと恵みを賛美することをみなで共にすることで、神様に赦していただくようになりました。

いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。ピリピ4：4

讃美歌 第二編 80

祈り 私たちのお父様。みことばをもっと愛することができますように助けてください。そして、あなたの愛と赦しという喜びを覚えることができますように。イエス様の御名において。アーメン。

ハーヴィー・フロイド
テネシー州 ナッシュビル

11月29日(水)

神様はあなたを用いてくださいます

聖書朗読 エステル記 4：1～8

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8：28

エステルはモルデカイのいとこで、モルデカイはエステルを引き取って自分の娘として養育しました。エステルは美しいおとめで、アハシュエロス王の新しい王妃として選ばれてときには緊張したに違いありません。

彼女は、自分の民族すなわちユダヤ人を根絶やしにしようというハマンの悪の計画について、最初は何も知りませんでした。モルデカイから、自分が王のところに行き、自分の民族のために王のあわれみを求めるように言われたとき、エステルは自分の命が危機に瀕していることを悟りました。

モルデカイはエステルに『あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためかもしれない。』(4:16)と伝えました。エステルは神様に信頼していました。そして、王はエステルの願いを受け入れました。この勇気あるおとめがユダヤ民族を救うことができたのです。

私たちみんなが、それぞれ何かに影響を与える立場にあります。神様が、私たちを今の立場に置かれたのは「この時のため」かもしれません。神様のほかに未来を知ることも、神様のご計画を知ることもできません。神様が私たちを用いてくださるのです。

ここに、私がおります。私を遣わしてください。 イザヤ 6：8

讃美歌 第二編 83

祈り 親愛なるお父様。あなたにお仕えするよう、あなたが私を用いてくださるために私を置いてくださるようにお祈りします。日々の生活であなたが与えてくださる機会に気づけるように助けてください。あなたが私を召してくださるとき、備えができているように助けてください。イエス様の御名において。アーメン。

ケン・スコット
テネシー州 ナッシュビル

11月30日（木）

お の の き つ つ 喜 べ

聖書朗読 詩篇 2編

恐れつつ主に仕えよ。おののきつつ喜べ。

詩篇 2:11

『おののきつつ喜べ』というのは、私たちには奇妙な命令のように聞こえます。私たちは、「おののき」には「喜び」ではなく「恐怖」を結びつけます。しかし、聖書の中ではしばしば、最高の喜びが恐怖やおののきと関連づけられます。

息子が誕生するという知らせとともに、主がアブラハムに現れたとき、主の最初のおことばは「恐れるな」でした。イザヤが神殿で主に見たとき、イザヤが最初に予期したことは、自分はもう死ぬということでした。主が命の保証をしてくださったあとで、やっとイザヤは自分が主のしもべであることを喜ぶことができました（イザヤ6章）。ベツレヘムの羊飼いたちが、主の使いからすばらしい喜びの知らせを聞いたとき、彼らは恐れしました（ルカ2：9）。ペテロが大漁に驚いたとき、彼はイエス様の足もとにひれ伏して、「私は、罪深い人間です」と言いました（ルカ5：8）。

神聖な畏敬の念を引き出すことのない、そのような力のない神に仕えることに喜びはありません。神様は私たちの心の中の思いをご存じでいらっしゃる事がわかると、実際、畏れを感じます。もし神様が私たちの心を見抜くお力をお持ちではないとしたら、私たちにはどのような慰めがあるのでしょうか？ 『神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されて』（ヘブル4：13）いるということを感じることで、私たちは『私たちの希望について十分な確信』（ヘブル6：11）をもつことができます。

讃美歌 130

祈り 全能なる神様。あなたを畏れることと愛することの両方において、私たちがすべきことができますように助けてください。あなたの御力とあわれみ深い愛の両方に常に畏敬の念をもつことができますように。

御子の御名においてお願いいたします。アーメン。

セイヤー・ソールズベリー
オハイオ州 トレド

12月1日（金）

眼 を 閉 じ て 聴 け

聖書朗読 詩篇 4：1～8

知れ。主は、ご自分の聖徒を特別に扱われるのだ。私が呼ぶとき、主は聞いてくださる。
詩篇 4：3

私の娘が飼っている犬は、目が見えないので簡単に驚かすことができます。娘の家に行くと、犬は驚いて吠えてきますが、私が声をかければすぐに安心して静かになります。彼女は私の声を覚えていて、そして私のことを信頼しているからです。同じように、声が届いているというのも心地が良いものです。私たちの言葉を耳を傾けて聴いてくださる方がいらっしゃるというのは、平安を、喜びを、安心をもたらします。

今日の聖書箇所は神様に声を聴いてください、答えを与えてください、そして平安をもたらしてくださいと願う者の祈りです。その望みは財産でも、美食でも、優秀な護衛でももたらすことはできませんでした。ただ祈りを聴いてくれる神様だけが与えてくださるのです。神様が聴いてくださるということを知ることは私たちに安らぎをもたらすのです。さらに私たちは聖書を読んで神様の声をお聴きし、静かに祈りのときをもち、神様の言葉を宣べ伝え、信仰にあふれる生活をし、心が常に開けれ、神様の声を聴けるように訓練することができます。

耳を澄ませて神様の声を待つときたとえ神様の姿が見えなかったとしても、神様の存在を確認し、また神様は私たちに知恵と、平安と、最上の喜びを与えられます。神様はどんな時であってもともにいて常に祈りに答えてくださっているのです。

讃美歌 517

祈り 神様。私たちが常にあなたへの畏れと感謝をもち、聖書とあなたの創造されたものを通じて神様の言葉をお聞きすることができますように。私の祈りを聴いてくださることに感謝いたします。私たちも他の人の言葉に耳を傾け、その声を聴き、安らぎを与えられますように。

イエス様の御名によってお祈りします。

スーザン・K・ギボニー
カリフォルニア州 マリブ

12月2日 (土)

この詩篇を自分のことだと思って

聖書朗読 詩編 5 : 1 ~ 12

こうして、あなたに身を避ける者がみな喜び、とこしえまでも喜び歌いますように。
あなたが彼らをかばってくださり、御名を愛する者たちがあなたを誇りますように。

詩篇 5 : 11

先日私を笑顔にさせるポスターに出会いました。1972年に出版されたカーリー・サイモンの曲「You're so vain」の一節をもじったものでした。

「なんて奴 たぶん、この詩篇を自分のことだと思って」。(You're so vain You probably think this Psalm is about you) まさしくその通り！ 詩篇の大部分は人類の多くについても言えることなのです！

今日の個所は環境や文化についての悩み苦しみを描いています。それは日々私たちの前に立ちだかるものと大変良く似てます。私たちは日常の誘惑、拒絶、反抗、憤慨と戦い続けています。この詩篇は自分のことなのです。

私は50年間、聖職者として身をささげてきました。その中で一番よく学べた事実とは私の考えるGOOD TIMINGとGOD'S TIMINGは全く異なっているということです。しかし本当のGOOD TIMINGは常に神様の側にあります。この真実を受け入れて初めて私はゆっくりとですが信仰の道を歩んでいくことが出来ました。そしてまるで今日の聖書個所にあるように、道を歩むにつれ満足が、平穏が、喜びが私の中で大きくなっていたのです。詩篇は自分のことなのです。

“聖なる信頼！ 終わりなき安らぎよ！

主の愛された弟子ヨハネの如く

救い主の胸にその頭(こうべ)をよりかからせて、

その旅路はなおも続く！”

—ヘンリー・ワーズワース・ロングフェロー

讃美歌 512

祈り 父よ。私たちそれぞれに御言葉を与えてくださることを感謝いたします。その言葉に従って私が良き行いをし、あなたを証出来ることを感謝いたします。

イエスキリストの御名によってお祈りします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン

ネバダ州 カーソンシティ

12月3日(日)

神様への信頼

聖書朗読 詩篇 9 : 1 ~ 10

御名を知る者はあなたに拠り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。

詩篇 9 : 10

詩篇はかつてヘブライ語で書かれた詩集です。しかしそれは決して色あせた古書ではなく、今でも続く変わらない信仰にとって慰めとなり、また励みとなっているのです。詩篇は美しく、聡明に書かれています。本日の聖書朗読より5つの考えをみていきましょう。

1. ダビデは『心を尽くして主に感謝します。あなたの奇しいわざを余すことなく語りつげます。』(詩編9:1)と語っています。ダビデのように神様の素晴らしい働きを証出来るよう忘れないようにしなければいけません。
2. 神様は悪を滅ぼしてください。悪は仮初の繁栄をするかもしれませんが最後にはその報いを受けるのです。
3. 神様の王国は永遠です。そこに真に平等で思いやりにあふれた正義と繁栄が存在します。
4. 神様は虐げられた者の守り手、困難にある人の砦です。どんな時でも私たちは一人ではありません。
5. いつでも神様を信じ、イエス様の御名を口ずさみ、そしてすべてを委ねる人に神様は味方してくれます。信じることが重要です。聖書には『あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。』(詩篇 9:10)と書いてあります。私たちは神様の素晴らしい行いすべてを信じることができます。さああなたは神様を信じることができますか？ あなたは心を尽くして神様に拠り頼めますか？

讃美歌 267

祈り 聖なる父なる神様。常に私たちとともにあって私たちのことを考えてくださっていることに感謝いたします。あなたのことを救い主と信じ、私たちが常にあなたを求めることができますように。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウエストレイクヴィレッジ